

ふれあいひろば

2021年3月2日発行 発行者 四中地区市民委員会 文化広報部

四中地区：人口 23,086 人 男 11,393 人 女 11,693 人 世帯数 10,381 世帯 R3.1.1 現在

緊急事態 “新型コロナ” 流行性感染症



閉散とした屋下がりの公民館と休館のお知らせ (R2.4.10 撮影)

公民館の長期休館について

館長 大竹 弘樹

皆様におかれましては、コロナ禍によりご不安な日々をお過ごしのこととお察しいたします。

4月に入り、茨城県から休日の外出、イベントの参加、多人数での集会や会食等を自粛するよう要請があり、公民館でも施設利用を一部制限しておりましたが、4月中旬に「緊急事態宣言」が全国に拡大し、当面の間休館することになりました。

そのような中、土浦市では感染予防や生活支援の為、マスクやごみ袋等の配付、給付金支給等の取り組みを行い、その1つの次亜塩素酸水の配付事業が各地区公民館にて実施され、四中地区では5月末までで延べ約1700人の方に配付を行いました。

約2ヶ月を休館して6月から再開になりましたが、同好会活動やお問い合わせなど、大変なご不便、ご迷惑をお掛けしていることと思ひます。

結びに、新型コロナウイルス感染症の一日も早い収束を願うとともに、なお一層のご自愛をお祈りいたします。

専門部役員紹介

今年度は、市民委員会専門部委員の任期満了に伴い、部役員選出のため、専門部会が、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、令和2年7月18日(土)・19日(日)に分散して開催され、次の方々が今期(2年間)の役員として選出された。

福祉部

部長 為頭 れい子
 副部長 菱沼 喜夫
 〃 狩谷 一枝

安全部

部長 落合 榮一
 副部長 皆藤 修樹
 〃 本田 章二

スポーツ健康部

部長 樋口 洋一
 副部長 内藤 栄治

環境部

部長 松尾 安子
 副部長 佐野 正枝
 〃 金子 愛子

文化広報部

部長 岡田 孝之

副部長(兼広報紙編集担当)

海老澤 賢治

〃 野口 貴代

青少年育成部

部長 飯田 美恵子
 副部長 菊地 敏子
 〃 高野 ゆり子

市民委員会総会が 書面決議で実施

今年度の市民委員会総会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から書面による議案

報告第1号 令和元年度 事業報告

認定第1号 令和元年度 決算報告

議案第1号 役員の改選(案)

議案第2号 令和2年度 事業計画(案)

議案第3号 令和2年度 予算(案)

の決議(5月12日付で書面表決書を送付し、5月22日提出締切日)が行われ、各議案における書面表決の結果は、賛成…179、反対…0、無記入…3により全ての議案について可決された。

※今回の常任委員会は開催せず、総会のみとした。

新型コロナウイルス

2019年(令和元年)末に中国・武漢で発症が確認された新型コロナウイルス(以下、新型コロナウイルスと称す)は猛威をふるい世界中に感染が拡大し、日本でも1月15日に初の感染が確認された後、2月中旬から急激に国内各地(茨城県は3月17日)で感染者が拡大し続け、集団感染(クラスター)も発生した。

新型コロナウイルスは、スポーツ界(東京オリンピックの1年延期)をはじめ経済・社会一般に大きな影響を及ぼすことになり、また、WHOが3月に、「パンデミック」(感染症の世界的大流行)を表明。中国はじめ欧米では「ロックダウン」(都市封鎖)が行われ、日本では4月～5月にかけて「緊急事態宣言」を発令し、都市封鎖に似た感染リスクの高

い都心および都隣接県間との不要・不急の移動(往来)自粛と併せ都心部への通勤を避けてのテレワーク等にかけて一部の都道府県に対し、同宣言が再発令。

なお、新型コロナウイルスは百年に一度の流行性の疫病と言っても過言ではない。ちょうど百年前の戦時中に、スペイン風邪(1918～1921年)が猛威をふるい世界的大流行をもたらした。ネットで調べてみると、日本国内の感染者数は、2380万人(うち死亡者は約39万人(内務省衛生局編「流行性感冒」による統計数値))となっている。

最後に、今年こそ事態が収束するよりも、コロナが終息することを願いたいものです。

(文化広報部 副部長 海老澤賢治)

前期公民館講座

前期公民館講座は、受講者募集開始直後に、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止されたが、下記の六講座が予定されていた。

- 1 プロが教えるネイルケア&サマーネイルで女子力アップ
- 2 ためになる花講座
- 3 たのしい英会話教室
- 4 イタリア料理講座
- 5 初心者向け獅子頭入門
- 6 リラックスアロマヨガ

まちづくりの実践を たたえる表彰

令和2年度「まちづくりの実践をたたえる表彰」として、積極的にまちづくり活動を行い多大な功績をあげた個人および団体に対し、土浦市まちづくり市民会議より感謝状が授与された（授与式のため中止）。

なお、四中地区地域から今年度表彰された個人および団体は、次のとおり（敬称略）。

〔個人の部〕

●熊木 恭子（国分町）

― 福祉活動17年間 ―

四中地区市民委員会福祉部の部員として活躍された。また長年の活動により、町内での福祉部活動が定着するなど、町内の高齢化対応に尽力。

●仲田秀治（小松町）

― 奉仕・環境美化活動7年間 ―

備前川沿い学童通学路、公民館周辺および公園の草刈りを実施。また、地域環境美化のため、積極

的に花いっぱい運動の推進し、子ども育成会や住民から感謝。

●碓 幸二（桜ケ丘町）

― 環境美化活動15年間 ―

ほぼ毎月実施している子ども会廃品回収において、子どもや保護者数の手薄なエリアにて回収・集積を行う子ども達の手伝い、声かけを行ってかれており、子どもや保護者から感謝。

〔団体の部〕

●天川防犯パトロール隊

― 防犯活動14年間 ―

平成17年2月に結成され、全隊員数87名が9班に分かれて年に45回、徒歩で町内をパトロールし、犯罪発生が極めて少なく、警察署や市の安全担当部署からも同隊の活動成果について高い評価。



これまで誰も経験していない学校の休校。本校でも多くの方々にご支援をいただき、できる限りのことに取り組みました。学校ホームページの記事「おうちにいるみなさんへ」もその一つです。学習面はもちろんです。大人でも精神的に辛いコロナ禍。子供たちの心の状態が一番心配でした。会えなくても学校とつながっていることを忘れないでお願いながら、記事を24回更新して載せました。その中から抜粋して紹介します（詳しくは、本校の学校ホームページをご覧ください）。

【3月9日】本来なら、今頃皆さんたちは、卒業に向けて、ありがたうの気持ちを伝え合いながら過ごしていたことでしょう。しかし、人を思い、人に感謝することは、どこでもできます。学校で会えなくても、お互いにあるがたうの気持ちももたらすばらしいですね。」

【4月21日】ストレスは、外からの刺激によって丸かった心がへこんでしまう状態です。ストレスが、たまるとたいへ

コラム

『おうちにいるみなさんへ』

土浦第二小学校 校長 丸山 洋子

んなことになります。自分でストレスを消せないときは、学校に電話をかけてきてください。」

【4月24日】「ゲーム依存症」とは、他の何よりもゲームをすることが大切になる状態のことです。ゲームは、脳が興奮して喜んでしまう魔法をもっています。ゲームをしすぎると脳がこの魔法にかかり、「ゲーム依存症」になる危険があることを忘れないで、上手に遊びましょう。」

【4月27日】病院で働く人やその家族が差別されるといふ悲しいニュースを聞きました。どんな場合であっても、仲間はずれや差別は、人として許されることではありません。我慢をすることが多くて苦しいときだからこそ、正しい心を忘れず生活をしていきましょう。」

学校再開後は、「人と離れなければならぬ今だからこそ心はもっと近づけよう」と、子供たちに呼びかけています。子供たちも落ち着きを取り戻しはじめました。学校に子供がいることに感謝をし、「子供は宝物」だと改めて実感する毎日です。

新型コロナウイルス禍の影響を受けた催事

昨年は百年に一度の見えない敵、新型コロナウイルス禍に明け暮れた一年であったが、感染症拡大防止のため、学校はじめ町内の各催事が行政指導によって変更あるいは中止せざるを得なくなりました。そこで、文化広報部に、新型コロナウイルス禍の影響を受けた行事やイベント等の催事について、取材あるいは情報収集を通じてリポートして頂きました。

(文化広報部 部長 岡田 孝之)

※()内の氏名は、記事取扱いおよび執筆担当された部員

下高津小学校

〈中止となった学校行事〉

- 〔4月〕
 - 。上高津貝塚見学(6年)
 - 。1年生を迎える会
 - 。全国学力・学習状況調査(6年)
 - 。授業参観、PTA総会
- 〔5月〕
 - 。クリーン大作戦
 - 。運動会
- 〔6月〕
 - 。たかつ集会(JRC)
 - 。清掃センター・浄水場見学(4年)
 - 。授業参観
- 〔7月〕
 - 。学びの広場
- 〔8月〕
 - 。クリーン大作戦
- 〔10月〕
 - 。芸術鑑賞教室
 - 。宿泊学習(6年)

東小学校

〈中止した学校行事の補足〉

- 〔11月〕
 - 。ハーモニイ集会
 - 。バザー
 - 〔1月〕
 - 。県学力診断テスト
- 。運動会は、12月にスポーツフェスティバルとして代替えて開催。
- 。クリーン大作戦(PTAの除草)は、11月に実施。
- (文化広報部 野口 貴代)
- 。昨年度の卒業式(3月19日)、今年度の入学式(4月7日)は在校生なしと来賓等の出席者を制限して縮小挙行。
- 。離任式が中止。
- 。令和2年3月4日(水)～5月26日(火)までの約3か月間にわたる長期間休校となる。ただし、修了式(3

月24日)および始業式(4月6日)は、例年通り予定日に実施。

。5月27日(水)から分散登校(A・Bグループの交互登校)を開始し、翌月8日(月)から通常の一斉登校に戻す。

。運動会(5月)が中止。

。5年生の稲作体験(5月の田植え、9月の稲刈り)が中止。

。茨城県子供自転車競技大会(主催：(二財)茨城県交通安全協会、茨城県警察本部)に、土浦地区として出場予定(7月10日)であったが、開催中止となる。

。水泳の授業を取り止め(今年はプール開きなし)。

。長期休校によって授業日数不足のため、夏季休暇と冬季休暇の日数を短縮。また、11月13日(金)、県民の日(休日扱い)を登校日に変更。

。6年生の宿泊学習(白浜青少年の家)は、日帰りの「野外共同学習」(常陸太田市「西山研修所」)に変更して9月9日(木)に実施。

。東の伝統をつなぐ高学年ミニ運動会が、10月28日(水)に開かれた。

。金管バンドは、運動会、キララまつり、市民体育祭、いちよう集会等の中止により6年生部員にとつては、演奏する機会がないため、11月5日(木)の午後、校庭で金管バンドコンサート(行進はせず)を行う(写真)。

。学習成果発表の「いちよう集会」が開催中止。

。PTA主催の「あずままつり」が中止。

。持久走記録会(12月)が中止。

(文化広報部 海老澤 賢治)



昼休みに行われたコンサート(許可を得て撮影)

土浦第二小学校

- 令和2年3月19日の卒業式、4月7日の入学式は在校生なしと来賓等の出席者を制限して縮小挙行。
- 離任式（中止）。
- 3月4日～5月26日までの約3ヶ月間にわたる長期間の休校（3月24日の修了式および4月6日の始業式は実施）。
- 4月16日 上高津貝塚見学（6年生）（中止）。
- 4月18日 授業参観、PTA総会（中止）。
- 5月8日 消防署見学（中止）。
- 5月23日 運動会↓9月に延期（中止）↓代替えとしてスポーツフェスティバルを11月4日（開会式）11月16日（閉会式）において開催。
- 5月27日から分散登校（A、Bグループでの交互登校）、6月8日から通常登校へ。
- 6、7月の水泳学習（中止）。
- 6月6日 PTA奉仕作業、おやじの会イベント（中止）。
- 6月8日 土浦特別支援学校との交流（3年生）（中止）。
- 6月24日 浄水場見学（4年生）（中止）。
- 6月25日 1学期末授業参観（中止）。

- 7月21日～7月29日 学びの広場（中止）。
- 9月26日 PTA奉仕作業（中止）。

- 10月30日 校内音楽会（中止）。
- 10月31日 PTAバザー（中止）。
- 11月10日 芸術鑑賞教室（中止）。
- 11月19日・20日 5年生 宿泊学習（中止）↓6年生で実施予定。
- 11月27日 2学期末授業参観（中止）。

※遠足関係は、例年と違う場所にて各学年とも実施。

（文化広報部 野口 貴代）
（海老澤 賢治）

土浦第四中学校

「新型コロナウイルス」の影響を受けて中止、代替えとなった行事

- 6月10日創立記念日（登校日）
- 中学生交換交流事業パロアルト派遣中止
- 広島への平和使節団派遣中止
- 9年生の京都・奈良方面への修学旅行（5月）↓日光方面への校外学習（10月29日）に変更
- 体育祭（9月）↓スポーツ集会【2020四中オリンピック】として各学年毎に、7年生10月5日、8年生10月8日、9年生10月12日に

開催。
音楽祭中止

トピックス

東小の児童、ランドセルに反射材

11月13日県民の日（登校日）
（文化広報部 野口 貴代）

開催。
音楽祭中止

昨今、児童が登・下校途中における交通事故で亡くなられるといった悲惨なケースが多発している。

東小学校の通学区域は、特に地域柄、高低差のある地形であり雑草木等の生い茂る所が多いことや旧村と新興住宅地とが混在している地域でもあり、歩道のない通学路も多く、非常に危険性が高まる。

私も10年ほど続けています同後援会見守り隊（33人）としては現在、新型コロナウイルス感染拡大を防止する問題で児童たちの見守り活動を自粛したいところですが、児童たちが学校に通う以上、私共ボランティアも続けねばならないところが悩みです。3密（密閉・密集・密接）等制限を守りながら高い意識を持ちパトロールを続けているところです。

（文化広報部 海老澤 賢治）

そこで、一昨年度から東小教育後援会（当時の会長・吉川一郎）が登下校の際に、児童が交通事故に遭遇しないことを願って低学年のランドセルのカブセに黄色の反射材（同教育後援会の支援によるもの）を貼り付けること



わが町の催事への影響

下高津一丁目

『コロナ対策と町会』

- 。町民の健康を第一に考える。
- 。「出来ること」と「出来ないこと」をしっかりと分けて考える。
- 。「現在」だけではなく、「今まで（過去）」と「これから（将来）」の事も考えて判断する。

◆中止した、人が多く集まる（3密）行事

- 。夏の祭礼
- 。市民体育祭
- 。懇親行事（年末反省会）等。

◆中止とせずに人が分散して行った行事（全ての行事で参加者の把握・マスクの着用・消毒）

- 。町内の防犯パトロール（青パト車）。
- 。育成会廃品回収は、回収班の人数を少なくして実施。
- 。祭礼山車（提灯新調）のお披露目が、広い会場で開催時間を長めに取り分散させて実施。

- 。町内の役員会（総務会、理事会、総会）は、3密を避けるように配慮し、必要に応じて、書面での決裁も行いました。
- 。その他として、地元神社の行事の休止、近隣店舗の休業なども見られ、影響の拡大が心配です。

（文化広報部 齋田 克史）

下高津二丁目

- ◆中止した行事としては、防犯関連会議への参加、防災関連会議および訓練への参加、八坂神社祭礼への参加、カラオケ懇親会、下小地区市民体育祭、救命講習会受講・給食体験・そば食の体験等の防災対策、忘年会。

◆中止とせずに実施した行事として

- は、理事会、理事から上の役職で総会、防犯パトロール（4班編成で月間昼3回、夜1回巡視、防犯灯のLEDへの切り替え、桜南地区青パトへの参加等）、環境施設の維持管理、防災倉庫の点検、敬老対象者

に祝い品の配布、防災パトロール（井戸水の検査および危険個所の点検、公民館の井戸検査）。

（文化広報部 岡田 孝之）

下高津三丁目

◆中止した行事

総会、一斉清掃、八坂神社祭礼、下小地区諮問、市民体育祭

◆中止とせずに実施した行事

敬老対象者への祝い品の配布は例年区長が行っていたが、今年は理事↓班長からの配布に変更。

◆子供会育成会の行事

。廃品回収は例年親子での回収を、最初は保護者のみで行い、順次子供も一緒に加わって回収を行った。

。歓送迎会は中止。

（文化広報部 大島 伸英）
（ 野口 貴代）

下高津四丁目

地区長 菊池 孝夫

。3月上旬に発生した新型コロナウイルスの関係で町内においても感

染が心配され、年当初の予定が大幅に変更を余儀なくされた。

。5月10日に、下高津1、2、4丁目の区長会を開催して、子供たちが楽しみにしている八坂神社祭礼を、中止とした。

。年行事の町内清掃（年4回）も、4月は実施したものの、それ以降は中止とした。

。町会総会は、役員・理事会にて承認を頂き、総会は中止し、町民には『下四会報』にて各戸配布し、結果反対意見はなかった。

。町内防犯パトロール、青色パトロール等についても人員を減らし実施したが、今後については検討中。

個人、個人が不要不急の外出・3密を控える。早急にワクチン・治療薬が出来ればと思います。

参考・市主催の行事はすべて中止。

・総会が書面表決。

（文化広報部 村山 陽一）

富士崎一・二丁目

壮青会会長 皆藤 修樹

新型コロナウイルスの感染流行により地域の皆さまは、日常生活における様々な制限や自粛を余儀なくされていることと存じます。

町内会としては、次の通り前年度後半からはほぼ全ての町内行事を中止しました。

2020年

2月 餅つき大会（前年度行事）

4月 町内役員会の参集と会計報告（文書決議で代行）

5月 町内年次総会の参集（文書決議で代行）、廃品回収

6月 町内夏祭り準備会合、準備作業

7月 町内夏祭り

8月 土浦キララまつり

9月 敬老祝賀会と赤飯配り

この他に福寿（敬老）会、婦人会、育成会、壮青（青年）会、お囃子会といった各団体の予定行事も会合・参集を取りやめ全て中止にしました。なお、9月下旬に中止とせずに参加人員を制限して「廃品回収」を実施し、ようやく活動が再開できました。今後は終息傾向やワクチン普及の状況を見て活動再開を慎重に判断していくこととなります。

（文化広報部 鈴木 伸之）

天川町

新型コロナウイルスの影響を受けて中止になった行事。

。町内会定期総会

。春季歩こう会

。町内会一斉清掃

。夏祭り↓代替行事として、天川町内祈願祭を実施。

。盆おどり

。敬老祝賀会を中止し、70歳以上の方への記念品の配布。

幸いにして実施できた行事

。秋季歩こう会：50人参加（写真）。

。天寿会：前期は、3密を徹底して事業を継続実施。

後期は、現在のところ事業を中止。

。円クラブ：前期は、3密を徹底して事業を継続実施。

後期は、現在のところ事業を中止。

。婦人学級：前期は、3密を徹底して事業を継続実施。

後期は、現在のところ事業を中止。

。育成会：前期は、廃品回収等を延期し、後期では現在のところ実施予定。

なお、事業については継続実施。

（文化広報部 井坂 正典）
（ 〃 石原 博明）



小春日和となった晩秋の歩こう会

。7月 霞ヶ浦清掃
。7・8・9月 千鳥ヶ池公園清掃活動

〔スポーツ健康部〕

。4月 四中地区体育協会総会（年間行事計画の策定）

。7月 小松夏祭り

。8月 キララまつり協賛

。10月 市民体育祭

〔安全部〕

。自警団活動：徒歩パトロール（年2回）

。青色パトカーパトロール（年2回）

。ボランティアによるパトロール（随時）

。6月 交通安全教室

。6月 水防訓練参加

。8月 キララまつり（土浦市安全安心パレード）

。11月 自主防災訓練

。11月 土浦市防災訓練

〔福祉部〕

。8月 盆踊り

。9月 公民館まつり

◎中止とせずに実施できた主な事業

〔環境部〕

。町会管理地清掃（年2回）

〔福祉部〕

。9月 高齢者へのお祝い（喜寿、傘寿、米寿、白寿）

〔子ども育成会〕

。8月 ラジオ体操を実施。

小松一・二・三丁目

〔町会専門部〕

◎コロナ禍により中止となった主な

事業

〔環境部〕

。6月 関東地方美化運動

。児童生徒育成活動（夏祭り、キララまつり参加等）が中止。
。廃品回収を実施

【ふれあいの会】

。もちつき大会（12月）が中止。
。ふれあいの会研修会を中止。
。12月 独居老人クリスマスプレゼント（民生委員）を実施。

【長寿会】

。歩く会（4月）、長寿会運動会（5月）、ラジオ体操（8月）、土浦市高齢者スポーツ大会参加（10月）が中止となる。

（文化広報部 今野 貴子）

小松ヶ丘町

【町内会】

町内会事業は、新型コロナウイルス感染症の拡大を考慮し、計画されていた春の町内一斉清掃、夏の町盆踊り大会、秋の市民体育祭、冬の自主防災訓練などが参加者の健康と安全を最優先して開催中止となった。

なお、中止とせずに実施できたものには町内役員会議も全員マスクの着用と「3密」を徹底し、感染防止に取り組みながら防犯活動、交通安全活動、公園広場の環境整備、ゴミ置き場の整備、防災機材備蓄食料の管理などを地域の住民と連携をしながら

行った。

【健寿会】

健寿会は、「健康」「友愛」「奉仕」の三本柱を年間事業として取り組んでいるが、新型コロナウイルス感染症拡大の防止に伴い、カラオケクラブの活動は当面の間、中止とし、恒例の「敬老祝賀会」も会員の健康と安全を考慮して中止となった。その代わりにお弁当などを配り「祝い敬老」とした。

また、奉仕活動では防犯活動として町内や児童下校時の防犯パトロール、公園広場の環境整備などを健康に配慮しながら行った。

【育成会】

会長 片倉 陽子

育成会も新型コロナウイルス感染症拡大の防止を考慮し、例年行われる行事が中止となった。

- ・歓送迎会（お楽しみ会）（3月）
- ・盆踊り大会（8月）
- ・バス旅行（12月）
- ・クリスマス会（12月）

毎年、子供達が楽しみにしている恒例行事が、中止せざる得ない状況は大変辛く残念でした。

（文化広報部 担当地区長

松下 恒正
（文化広報部 石原 恒人）

桜ヶ丘町

桜ヶ丘町は、「町内の融和と一体感の醸成」「子ども達への古里の思い出づくり」を目的に安心・安全に暮らせる町づくりの活動の一つとして取り組んでいます。令和2年度には、新型コロナウイルスにより次の行事等の開催が中止あるいは変更して実施した（11月11日現在）。

【中止となった行事】

。子ども達が楽しみにしている一つ、2日間にわたり獅子山車の上で笛太鼓の演奏と獅子舞を披露しながら町内を巡行する「夏祭り」（7月11・12日）が中止となった。
。毎年600人余の来場者がある、「桜ヶ丘町盆踊り大会」（8月22日）は3密回避のため、開催中止とした。

。子ども達に、杵と臼を使ってのお餅つき体験をしてもらうはずであった「餅つき大会」（12月6日）が、コロナ禍により中止となった。
。防災知識を高めてもらい自助に役立てていただく目的であった、桜ヶ丘町防災訓練（10月11日）を中止とした。

【内容を変更して実施した行事】

。「敬老お祝い」（9月12日）は、お祝い品として紅白饅頭、お赤飯等

をお配りしていた物を、クッキー等に変えてお届けした。

（文化広報部 山田 重美）
鈴木由美子

千鳥ヶ丘町

中国での新型コロナウイルス感染が、国内にも一月から段々と感染が広がり、三月には学校が休校になりました。国内では感染が拡大し続け、四月、五月がピーク（第一波）になりました。

千鳥ヶ丘町では、五月、七月に実施される町内清掃が中止となったことにより草刈りがなくなり、自宅前の清掃を行うようになりました。

また、九月には高齢者たちが、楽しみにしていた敬老会が中止となり、十月には市民体育祭と高齢者スポーツ大会が中止となりました。よって多くの楽しみが奪われました。

なお、廃品回収は三ヶ月に一度実施しています。

最後に、一九八八年（昭和六十三年）に昭和天皇がご病氣となり、秋に行われる様々な行事が中止になったことを思い出します。速やかにコロナが退散し、国内が平安になることをご祈願いたします。

（文化広報部 栗原 亮）

永国町

町内の催事が、新型コロナウイルスの影響を受けて余儀なく変更あるいは中止等となった主な催事は次の通り。

。新型コロナウイルス感染拡大防止のため公民館の使用を3月～8月末まで使用自粛（ただし、一部の例外使用を除く）。

。総会（4月）の開催中止。

。班長会議を8月まで開催中止し、9月から再開（9月のみ3ブロックに分けての分散開催）されたけど、年明けて再び開催中止となる。

。春と秋の環境美化一斉清掃が、行政指導により中止となる。

。6・8・10月に予定していた国立霞ヶ浦医療センターの除草ボランティア（桜南ブロック）が中止。

。夏祭り（7月18・19日）と納涼盆踊り大会（8月15日）が開催中止。

。土浦キララまつりが開催中止（町内からはパレードへの参加）。

。市民体育祭が開催中止。

。※11月3日、亀城太鼓保存会が、町内一斉の『おはやし演奏』に賛同して演奏を行う（写真）。

。収穫祭（芋煮会）、除夜祭、元旦祭、愛宕祭（どんど焼き）等の祭事イベントが中止。

。町内防災訓練（2月14日）が中止。



疫病払いを願って力強く演奏

※11月3日（祝日）、「つちうら祭会」が、市内のおはやし団体に邪気（疫病）払いを兼ね、各町内に一斉の『おはやし演奏』を呼びかけ、それに賛同した団体が15時から約30分演奏を行ったもの。

◇永国みどり子供会・育成会

。6年生のお別れ会と新入生の歓迎会を中止。

。廃品回収が行政指導により、4月と6月の廃品回収は中止となり、9月から再開したものの古布については当面の間、回収しないこと

に決定。

。夏祭り、盆踊りの中止に伴い、6月から夏祭り直前にかけての「子供お囃子」の練習が中止。

◇永国むつみ会

永国むつみ会は、昨年度の総会を3月に開催した直後に、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、毎月の定例会および敬老祝賀会（9月）、新年会（1月）が中止となる。

また会員の親睦を兼ねたバス研修（春の日帰り、秋の宿泊）旅行も中止した。このほか、高齢者スポーツ大会（10月）および芸能発表会（11月）が開催中止となった。

（文化広報部 海老澤 賢治）

永国東町

新型コロナウイルスの影響を受けて中止になった行事等。

【町内会】

- ①町内会定時総会、
- ②町内草刈り・一斉清掃、③夏祭り、
- ④敬老祝賀会、⑤市民体育祭、
- ⑥防災訓練、⑦町内会ゴルフ大会、
- ⑧餅つき大会

【親睦会】

- ①定時総会、

- ②夏祭り前夜祭および夏祭り参加、

- ③町内餅つき大会、④カラオケ、
- ⑤健康麻雀、⑥親睦旅行、
- ⑦育成会ラジオ体操後援、
- ⑧DVD鑑賞、⑨公民館大清掃、
- ⑩忘年会・新年会、⑪茶話会、
- ⑫BBQ大会、⑬芋煮会

【社会学級】

- ①町内夏祭り手伝い、
- ②町内餅つき大会手伝い、
- ③研修旅行、④新年会、⑤古典勉強会、
- ⑥手芸、⑦編み物、⑧カラオケ

【育成会】

- ①育成会総会、②新入生歓迎会、
- ③夏祭り前夜祭および夏祭り、
- ④ラジオ体操、⑤クリスマス会

（文化広報部 三森 耕次）

永国台

◇町会

。例年7月下旬には町内の公園での懇親会、サマーフェスティバルの開催、10月には市民体育祭への全種目参加を続けてきました。また、町内一斉清掃は、住民のボランティア活動として定着しています。今年度これらの活動は、全て中止としました。

なお、班長と有志によるボランティア清掃により、町内の美化を進めています。

◇子ども会・育成会

育成会 会長 天貝 裕子
。3月末に新入生歓迎会、7月中旬にお楽しみ縁日を町会行事に合わせ例年行ってきましたが、安全を考え中止しました。
。年4回、廃品回収を実施する予定ですが、5月の第1回目を7月中旬に延期して実施しました。残りの行事も今後の情勢を見ながら判断してまいりたいと思います。

◇はつらつクラブ

。集会所での例会や誕生会、文化的・健康的活動は自粛し、各自で健康体操（健康増進課推奨）を行ったり、希望者には自宅で楽しめるCD（音楽、落語、講談など）を回覧したりしてきました。
10月に入って、屋外で短時間の誕生会を半年ぶりに再開しました。
。月2回の文書配布については、屋内での文書仕分けを最少人数で行い、会員による全戸配布を翌日にして、作業を分散しています。

（文化広報部 担当地区長

広末 修三）

〈あとがき〉

以上、掲載についてご理解・ご協力頂きました町内を掲載いたしました。

当号の編集結果、各町内において多彩な催事が行われていたことが把握でき、また、新型コロナウイルスの影響により、止むを得ず中止や変更された催事があったことを記録として残すことができました。何年後か先、新型コロナウイルスについての出来事を知る際の参考として、当号が役に立てれば幸いに存じます。原稿執筆された関係者および文化広報部員にお礼を申し上げます。

今後、新型コロナウイルスが終息しない限り催事への影響は、同様に繰り返されるものと思われまます。

（広報紙編集担当）

四中地区公民館

。公民館が、4月9日～6月1日まで長期休館となる。さらに、令和3年1月18日～2月8日まで再び休館となる。

。前期公民館講座が、開講中止。
。除菌水（次亜塩素酸水）を配布

（1世帯1リットル）。
。市民委員会総会は書面表決に変更

し、書面による決議。
。常任委員会は開催せず、総会のみ。

。市民委員会専門部会が、7月18日（土）・19日（日）に分散して開催。
。土浦にこにこ食堂（こども食堂）

。当面の間、休止する。
。チャレンジクラブは、4か月遅れて9月に少人数（2グループ11人）の会員で開講（5回開催）する。ただし、12月・1月開講分は

公民館使用自粛および休館のため、中止となる。

。茨城県知事から感染者が拡大しつつある県南の地域に対し、不要不急の外出自粛の要請が発令されたため、市内の公民館が11月28日～12月13日、1月7日～17日にかけて使用自粛となり、さらに1月18日～2月8日までが休館となる。

状況により延長する場合あり。
。公民館まつりおよびニューイヤークンサート（文化広報部主催）

は、新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、3密を回避するため開催中止となる。

。歩く会を開催中止する。
。各専門部が活動を休止する中、青少年育成部（チャレンジクラブの協力）と文化広報部（広報紙の発行）のみが活動を実施

（広報紙編集担当）

四中地区体育協会

〔中止となったイベント〕

。グラウンドゴルフ大会（6月）
。ビーチボールバレー大会・壮年体カテスト（6月）

。市民体育祭（9月末～10月上旬）
。スポーツ吹き矢大会（10月）
。大縄回し大会（10月）

。歩く会（2月）

出典：四中地区歩く会打合せ資料より抜粋。
（広報紙編集担当）

1年目の新型コロナ感染者（1月15日付）

国内で初の新型コロナ感染者が確認されたのは、昨年1月15日であり、ちょうど1年目（1月16日付の新聞紙上発表）となった感染者は次の通り（茨城県は、3月17日に初の感染者が確認された）。

国内全体感染者:	318,487人
	(死者: 4,433人)
茨城県感染者:	3,617人
	(死者: 41人)
土浦市感染者:	376人

後期公民館講座

1 プロが教える!! ネイルケア & 基本のセルフネイル

プロが伝授! お家でネイルケア、マニキュアの塗り方。ネイルアートにもチャレンジ



自分の手にうっとり♡

2 冬の寄せ植え講座

クリスマスローズを使った冬の寄せ植え作り



気分はクリスマス

3 本場のイタリア料理 (公民館使用自粛により中止)

本場イタリア料理で季節の料理にチャレンジ!

4 リラックスヨガ

ヨガでリラックス



背筋ピン! 全身スッキリ

**新年度公民館講座は4月に募集開始です!
たくさんのご応募お待ちしております!**

チャレンジクラブ

チャレンジクラブ年間報告

(指導員) 佐野 隆之

令和2年度四中区チャレンジクラブ開講式を9月26日に開催しました。開講式は、梅澤義昭市民委員会委員長、大竹弘樹公民館長、飯田美恵子青少年育成部長よりご挨拶を頂き、スタートしました。

10月 親子で防災食作りにチャレンジ

12月 おもしろ理科の体験(モーター作り)

1月 ジャグリングにチャレンジ

2月 肉まんづくりと閉講式

新型コロナウイルス感染症の影響で活動は「3密」を避けてソーシャルディスタンスを意識しながら行い



防災食作りにチャレンジの様子

ました。実施回数や参加人数も減りいろいろと大変だったこともあったと思いますが、「友達と仲良くなれてよかった。」「できないことができるようになった。」などの声もたくさん聞かれました。一人ひとりのチャレンジクラブ員の皆さんが大きく成長できましたのも青少年育成部の皆様方のサポートのおかげです。本当にありがとうございました。
※12月・1月は中止となる。

チャレンジクラブの思い出

下高津小学校 6年 阿久津 円香

私は、チャレンジクラブに三年間参加し、たくさん思い出ができました。

一番思い出に残っているのは「親子で防災食を作り」です。パスタやカレーライス、サラダなど毎年いろいろな防災食を作りました。四年生の時は、なかなか上手に作れませんでした。が、六年生ではおいしく上手に出来てうれしかったです。もし、災害が起きた時には、作れるので参考になりました。

今年も新型コロナウイルスで、回数が減ってしまい残念でした。他校の友達皆で協力して行う活動もあったので、友達がたくさん出来ました。三年間、様々な活動をして、楽しかったです。

社協だより

ふれあいネットワークを

「ご存じですか？」

社会福祉協議会 桜南支部・

地域ケアコーディネーター

橋本 奈苗

突然ですが皆さん、ふれあいネットワークをご存じですか？

ふれあいネットワークとは、各地区公民館に地域ケアコーディネーターを配置して福祉の相談窓口とし、必要な支援が受けられるよう適切な機関へ連絡調整をしながら支援していく仕組みです。その中心を担う地域ケアコーディネーターを社会福祉協議会の支部職員が担当しています。

福祉の相談といってもさまざまです。例えば、家族が認知症かもしれない。これからどうやって生活していけばいいの？介護保険を使いたいけれど手続きの方法が分からない。障害がある方の今後の生活が心配。ひきこもっている子の将来が心配。障害のあるお母さんの子育てに関する不安などがあげられます。

「どこに相談していいかわからない」そんなときは、四中地区公民館にいる地域ケアコーディネーターに

ご相談ください。相談は年齢や福祉の分野を問わず全世代を対象としています。要支援者の方はこちらもその方を支える家族も含めて安心して暮らしが送れるように一緒に考えていきます。相談は無料です。また、相談に限らず福祉の情報についてご案内もいたしますので、お気軽にご連絡ください。



事務局より

●新任職員紹介

令和2年4月に異動して参りました、登坂 繭と申します。

早いもので令和2年度も残すところ僅かとなりました。新型コロナウイルスの影響で赴任直後に公民館が休館となり、また、公民館まつりを始めとした行事が軒並み中止となる中で、なかなか皆さまにご挨拶する機会が持てずにおりましたが、今回この場をお借りすることができました

た。生涯学習の場として、地域コミュニティの活動拠点として、地域の方々が気軽に楽しくご利用いただける公民館を提供できるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願いたします。

●職員紹介

館長(所長)	大竹 弘樹
主 幹	登坂 繭
指導員	佐野 隆之
社会福祉協議会	橋本 奈苗
窓口事務	里村 厚子
窓口事務	於本 園恵

編集後記

今年、新型コロナウイルスで、殆どの活動が中止となりました。このような中、皆様のご協力によりコロナ禍での様子を、この広報紙『ふれあいひろば』に掲載、第32・33号合併号とし発行する運びとなりました。お忙しい中、執筆にご協力くださいました方々に深く御礼申し上げます。

今後とも、四中地区の様々な活動や頑張りをお手伝いすることによりまして、更なる地域の繋がりが深まれば幸いに存じます。ご意見もお待ちしております。(野口)

年度初め早々に記事ネタとなる催事の中止と公民館長期休館により、広報紙が通常の発行では無理であることを察知し、悩んだ末、今年度は、催事の影響を掲載(記録)した特別編集による第32・33号の合併号発行を企画してみました。

原稿収集に当たっては、学校はじめ地域の関係者方々ならびにご協力頂いた文化広報部担当地区長と同部員には大変お世話になりました。紙面上にて感謝の意を表します。

この時代(とき)の事象は一過性に過ぎませんが、長年の広報紙編集活動で培った経験ならびに興味(鉄道交通)関係で交流があった故・茨城大学名誉教授 中川浩一氏から「活字にして残しなさい」という教えを思い出し、記録目的(集大成の編集として)の発行と致しました。ご精読有難うございました。(海老澤)

